

bonキッズ北堀江 自己評価結果

公表: 平成30年10月

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令で定められたスペースを確保し、また、活動しやすい備品の配置など可能な限り工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準+1名以上(常勤換算)の職員配置をし、利用状況に応じて調整を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化事業所の、バリアフリー化配慮が適切になされているか		○		エレベーター設置の要望はあるが、建物の構造上設置できない状況。階段昇降に支援が必要な児童については、スタッフが見守りや保護者の補助をするなどして対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPCDAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		事業所内や法人全体の会議を定期的に行い、その中で行っている。職員によって参画の仕方に差がある場合は、記録の回覧や個別面談などで対応している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けのアンケートを実施・公開している。また、結果についてスタッフ間で共有し、改善点などについて検討・周知している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			1年ごとに実施し、HPにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部コンサルタントによるスーパーバイズを受け、業務改善を行っている。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修計画を作成し、法人内外の研修に参加することを奨励している。外部の研修については、受講費、交通費等を助成している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用開始前に評価面談(児童のアセスメント・保護者からの聞き取り)、支援会議を行った上で、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ヴァインランドと法人独自の簡易アセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム立案の会議を月2回以上行っている。また、必要に応じて児発管や担当者を中心に情報共有・活動プログラムの調整を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々の活動の中でアセスメントを行うことにより、利用児童の発達段階や興味・関心に合わせた活動ができるようにしている。また、季節の行事などを活動に取り入れるようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			GW、長期休暇中は、利用児童や保護者のニーズを確認し、企画プログラムを実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			評価面談やモニタリング面談、日々の活動の中で、児童や保護者の状況・ニーズを確認し、それぞれの課題に合わせた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		勤務体制によってできていないときもある。今後は必ず実施できるように改善していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		全ケースは実施できていないが、必要なケースのみ情報を共有する時間を毎日設けている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			法人独自の記録用紙を使用し、児童の変化や成長が分かるようにしている。また、支援計画に基づいた記録をするよう職員間で共有している。
関	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回、モニタリング面談と支援会議を行った上で計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			それぞれの課題やニーズに合わせて、活動の組み立てを行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			可能な限り、児発管と児童の担当者が参加するようにしている。

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	必要なケースについては、保護者を通して行っている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	これまでに対象となる児童はいないが、必要であれば体制を整えていく。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	これまでに対象となる児童はいないが、必要であれば行っていく。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	専門療育実施機関同士の情報共有は定期的に行っている。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今後検討していく。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回の利用時に、保護者と情報共有する機会を作っている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	専門療育の利用者については、保護者研修を開催している。その他の利用者については、今年度から研修会を開催予定。
保護者への説明責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に全員に説明している。変更があったときなど、必要に応じて掲示などで周知している。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回の利用時や、必要に応じて面談の機会を作り、相談に応じている。また、電話での相談にも可能な限り応じている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	座談会・勉強会を定期的で開催しているが、参加しにくい保護者も多い。日程等の検討をしている。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	対応マニュアルを作成し、契約時に苦情窓口の案内をしている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	今後検討していく。
	㉞	個人情報に十分注意しているか		○	個人情報の持ち出しは原則禁止とし、やむを得ず持ち出す場合は、管理者の許可を得るようにしている。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		口頭でのやり取りだけでなく、必要であれば視覚的なツールを使用したり、理解内容を確認するなどの配慮を行っている。
	㊀	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後検討していく。
非常時等の対応	㊁	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルを作成・掲示しているが、周知が十分でないため、周知の工夫をしていく。
	㊂	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	㊃	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人研修や事業所内研修の中で行っている。
	㊄	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	これまでに対象となる児童はいないが、今後必要であれば適切な対応を行っていく。
	㊅	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者からの聞き取りで対応を行っている。
	㊆	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		